

愛媛県伊方町で確認されたキオビエダシャクの幼虫

安田昂平¹

¹ 面河山岳博物館



写真1 *Milionia zonea pryeri* Druce, 1888 キオビエダシャク (A : 伊方町大久, B, C : 伊方町井野浦)

種の記録

Geometridae シャクガ科

Milionia zonea pryeri Druce, 1888

キオビエダシャク(写真 1)

確認記録 個体数:3(亜終齢幼虫)(写真 1A), 確認年月日:2026年9月13日, 撮影場所:愛媛県西宇和郡伊方町大久, 撮影者:成木利久, 採集個体は撮影後その場に放逐した. 個体数:4(亜終齢幼虫)(写真 1B, C), 確認年月日:2026年9月23日, 採集場所:愛媛県西宇和郡伊方町井野浦(33.369096N, 132.105668E), 採集者:安田昂平, 採集個体は面河山岳博物館にて飼育している.

種の特徴

観察個体はいずれも頭部, 前胸, 脚および尾端は赤褐色, その他は黒色となり, 気門線および気門の周囲は赤褐色で, その他に8条の黄色縦線を有し, 各節ともに数個の黄色の横線を有することから本種と同定した(具志堅, 2017).

備考

本種は国内では南西諸島から九州本土で発生が確認されており, 分布域が北上傾向にある(佐藤, 2003). 愛媛県では2025年に伊方町大久と塩成にて成虫が初確認された(安田・吉富, 2026)が, 幼虫はこれまでに確認されておらず, 本報告が愛媛県における幼虫の初記録となる. 報告個体はいずれも体長30mm 前後で, 防風林として植えられたイヌマキにて確認された(写真 1A は落下した個体を別植物に乗せ

たものである). 大久では成虫も確認された(成木, 私信)ほか, 西予市宇和町では2026年6月30日に成虫の目撃情報がある(大森, 私信). 本種は時に大発生して食樹であるイヌマキやナギの葉を食べつくすことがある(具志堅, 2017)ため, 今後の動向に注意が必要である.

謝辞

本報告にあたり, 撮影および目撃情報を提供いただいた成木利久氏, 四国西予ジオミュージアムの大森悠紀氏, 投稿を勧めて頂いた愛媛大学ミュージアムの吉富博之教授にお礼を申し上げる.

引用文献

- 具志堅允一. 2017. キオビエダシャク. 牧野俊一(監), 沖縄のみどりに発生する主要な病害虫 診断・防除の現状. 沖縄県農林水産部森林管理課 沖縄らしいみどりを守ろう事業保全対策検討委員会, 那覇. 29–35.
- 佐藤嘉一. 2003. 鹿児島県で発生しているイヌマキの2大害虫. 林業と薬剤, (166):11–16.
- 安田昂平・吉富博之. 2026. 愛媛県におけるキオビエダシャクの初記録. 南予生物フィールドノート, 26005.

(2026年10月2日受付, 2026年10月6日公開)

連絡先: 安田昂平 (e-mail: koheizari303@gmail.com)

(Kohei Yasuda. 2026. Records of larvae of *Milionia zonea pryeri* (Lepidoptera: Geometridae) from Ikata Town, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26028)